

局の動き

財務部

中小企業金融の円滑化に関する意見交換会を開催

経済対策閣僚会議（4月4日）において、「成長力強化に向けた早期実施策」が取りまとめられました。この中で金融庁関連の施策として、「金融関係団体へ、地域・中小企業金融への十分な配慮を要請する」と盛り込まれていることを受けて、5月12日（月）に那覇第2地方合同庁舎において、「中小企業金融の円滑化に関する意見交換会（沖縄総合事務局主催）」を開催しました。

この意見交換会において、金融庁の戸井田大臣政務官から管内金融機関の代表者に対して、「政府においては『成長力強化に向けた早期実施策』を着実に実施していく。金融機関においても、地域密着型金融のより一層の推進に努めるとともに、中小企業に対し適切なリスクを取り、資金供給を円滑に行っていただきたい。」との要請を行いました。

また、福井沖縄総合事務局長からは、「地域情報等の十分な活用や個々の中小企業の実情に応じたきめ細やかな対応」を求めました。

出席した金融機関側からは、「景気回復傾向の中、中小企業向け融資についても、設備資金や運転資金の需要が喚起され増加傾向であったが、今後は住宅着工戸数の減

少や原油高の資金需要に与える影響が懸念される。引き続き中小企業金融の円滑化を重要課題として取り組んでいきたい。」との話がありました。

その後の意見交換においては、中小企業金融についての各金融機関の取組みが報告され、活発な意見交換が行われました。



意見交換会開催状況

経済産業部

安全保障貿易管理説明会を開催

6月13日、沖縄総合事務局において「平成20年度安全保障貿易管理説明会」を開催しました。

近年、大量破壊兵器の拡散やテロの頻発が世界情勢を不安定化させ、各国の経済発展にも大きな影響を及ぼしかねない状態にあります。たとえ民生用途であっても、これらへの転用が可能である貨物を海外に輸出する際には、外為替及び外貿法（外為法）等に基づき、経済産業大臣の許可を受ける必要があります。このような中、わが国及び国際社会の安全保障上ゆるぎかねない外為法違反（不正輸出）の事案が続き、企業における輸出管理意識の向上を始め、関係法令の遵守徹底が一層求められています。

この説明会は、沖縄県内の通関業者や輸出を行う製造業者等を対象に、外為法の制度に対する理解を深め、社内における輸出

管理体制の整備に役立てていただくことを目的として開催しました。

当日は、経済産業省貿易経済協力局貿易管理部上席安全保障貿易検査官池田 清則氏により、輸出管理制度の概要や違反事例についての説明が行われました。参加された皆さんには、取り扱う輸出物品が安全保障上どのように管理しなければならないかについて、熱心に聞き入っていました。



講師



会場の様子

開発建設部

交通安全マップ（比屋根小学校）を活用した 交通安全教室を開催

今年4月に開校した沖縄市比屋根小学校の通学路になっている国道329号は、4年間の平均事故件数が11件／年と多い中、児童の約8割が国道を横断して通学しており、交通事故にあう危険性があるため、児童が安心・安全に通学できるように、南部国道事務所のソフト施策として、事故発生場所の把握及びヒヤリハットの箇所把握を行い「交通安全マップ」を作成しました。

去る5月14日（水）に、比屋根小学校で新1年生（約100名）を対象に交通安全教室を、沖縄警察署、沖縄市教育委員会、沖縄地区防犯協会と共同で開催し、当事務所は「交通安全マップ」を活用して説明しました。

なお、今回作成した「交通安全マップ」は、平成18年度に那覇市仲井真小学校で先行して作成した交通安全マップに対する改善意見（児童にも分かりやすく、興味を引くように）を受けて、児童版と保護者版の2種類を作成しております。



交通安全教室（5月14日）

運 輸 部

平成20年度陸運及び観光関係功労者 沖縄総合事務局長表彰

平成20年5月22日（木）、那覇市内において、関係者多数の出席のもとに、平成20年度陸運及び観光関係功労者の沖縄総合事務局長表彰が行われました。

本表彰は、県内において自動車運送事業、自動車整備事業等の陸運関係事業又は観光関係事業に従事する役員、従業員で当該事業に対する功績が顕著であった者、また、永年にわたり業務に精励し、勤務成績が優秀な者に対し毎年行われるものです。

今回の受賞者は、事業役員13名、事業従業員5人、運転者5名、整備士等3名の計26名の方に対し、局長から永年の功績に対する表彰状が授与されました。

また、受賞者代表として、琉球三菱自動車販売株式会社 代表取締役 大城 守弘氏から謝辞がありました。



局長と受賞された方々